

令和3年度第2回環境審議会 意見・質問一覧

〈1. 令和4年度以降の入間市重点取り組みについての意見・質問〉

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
1	平塚委員	全体	事務事業及び民生家庭において、GHG 排出量のキーカテゴリー（運輸や電力等）を特定し、そこへの具体的な対策が必要だと考えます。例えば、運輸においては通勤、通学、買い物、その他においてどのような対策を実施するのか、その具体性と市民の受容性が重要だと考えます。	市民をはじめとする民生部門においての具体的な取り組みは、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）において明示するよう検討します。
2	相葉委員	全体	第三次入間市環境基本計画の基本方針1においては、脱炭素、ゼロカーボンについての言及がないため、現時点では時代遅れを感じざるを得ないので、どこかの箇所に補足説明を挿入すべきと考えます。	第三次環境基本計画策定後にゼロカーボンシティ宣言をしたためですが、同宣言に基づき取組を行っています。第三次入間市環境基本計画改定の際に見直します。
3	手島委員	2-1 基本方針1 基本施策1 (P13～21)	循環型社会のキーワードは、3R(リデュース・リユース・リサイクル)と認識しています。本施策はリデュースを中心に推進しているようですが、リユースについての施策についての評価が悪くなっているように見えます。リユースについても施策を具体化して進めてはいかがでしょうか。	現在の第三次入間市環境基本計画の中間見直しの際に、リユースについての施策の追加を検討します。
4	川名委員	2-1 基本施策1 1.①ごみ減量の推進 (P13)	5～6行目「令和3年度はマイバック持参の人に啓発品を～館内で配布予定で、・・・」“館内”とはどこか？明記の必要を感じます。	館内とは、リサイクルプラザです。 今後、報告書の原稿を作成する際には、明記します。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
5	篠塚委員	2-1 基本施策1 1.①ごみ減量の推進 (P13)	10月の3R推進月間時にマイバッグ持参の人に啓発品を館内で配布予定 → 館内とは？市内大型店舗ではないのですか？ マイバッグ利用者がかなり多くなっていると思いますが、コロナ禍の今、生協の宅配やスーパーの宅配を利用している人が増えていると思われます。 「ごみ減量マイバッグ推進キャンペーン」を告知していますか？キャンペーンをしても市民はどこでやっているのかも知らない人が多いのでは。FMチャッピーや広報いまを利用して効果を考えないと折角のもくろみも意味がないです。	啓発品は、リサイクルプラザの管内にて配布しました。 また、「ごみ減量・マイバッグ推進キャンペーン」については、市公式ホームページにて掲載していますが、キャンペーン内容及び期間等の具体的な事項と市民の方にもわかりやすいPRをしていきます。
6	森委員	2-1 基本施策1 1.①ごみ減量の推進 (P13)	『令和4年度以降は、10月中の3R推進月間の時に「ごみ減量・マイバッグ推進キャンペーン」を予定しています。』 昨年来、感染症の影響で、リモートワークや外食を控える生活が広まり、自宅での食事や家飲みが多くなり、そのために私のマンションのごみ集積所には数年前よりは多量のごみが出されています。令和2年度の家庭ごみは大きく減少していますが、廃プラスチックは反対に大きく増加しています。 上記の内容はコロナウイルス感染のために市民生活の変化がごみについても現れていると思われます。ついては、「ごみ減量・マイバッグ推進キャンペーン」を最近のコロナウイルスによって変わった市民生活を反映したものに変えていく必要があります。	新型コロナウイルスの流行により、変化した市民の生活様式に合ったキャンペーン内容へ見直します。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
7	篠塚委員	2-1 基本施策 1 1.①ごみ減量の推進 (P13)	県と連携して事業ごみ削減キャンペーンを実施。また、搬入時の内容物検査の強化は、搬入検査をする前と後では変化がありましたか？	搬入検査により内容物の確認は、その都度行い、違反搬入者への指導は徹底しました。 その後、違反搬入者の追跡は行っていないため、搬入検査の前後での変化は確認できていません。 そのため、違反搬入者の追跡を今後実施するよう検討します。 なお、違反搬入者とは、スーパーマーケット等より排出される一般廃棄物を総合クリーンセンターへ搬入する市から許可を受けている業者です。
8	篠塚委員	2-1 基本施策 1 1.④ごみ減量の推進 (P14)	生ごみ処理機の購入者に対する補助金制度とてもありがたいですが、高価でもあります。先日、バッグ型のベランダでも置いておける生ごみ処理バッグを知りました。とても扱いやすく、こういう形の物を普及できると手軽で利用できる人が増えるのではないのでしょうか。	生ごみ処理機の一層の普及を目指し、市公式ホームページ等で設備についての PR や紹介を行っていくことを検討します。
9	篠塚委員	2-1 基本施策 1 1.①ごみ減量の推進 (P14)	「彩の国エコぐるめ事業」 入間市で加入しているお店のリストはありますか？市民はどうやってエコぐるめ事業に参加しているお店を知ることができますか？地産地消と相まって知ることができれば、市民も啓発され利用者も増えるのではないのでしょうか？	埼玉県公式ホームページにて、市町別の協力店を紹介しています。 また、市公式ホームページでも食品ロスのページ（ページ番号 1008957）にて上記サイトのリンクを貼り、事業の紹介を行っています。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
10	川名委員	2-1 基本施策1 1.①ごみ減量の推進 (P15)	6行目「・・・啓発を行っていきたいです。」→誰かの希望？	来年度の報告書を作成する際に、参考にさせていただきます。
11	篠塚委員	2-1 基本施策1 1.②リサイクルの推進 (P15)	ごみ分別アプリ+ごみチャンネル だと思います。ご高齢の方でアプリを見られない方もたくさんいらっしゃいます。ごみチャンネルの存在は“大”です。ただ、初めて配布された時の横とじ?の方が実際見やすいです。字も今のは小さすぎて読みにくいです。 “3R 君”とってもかわいいキャラクターで SNS にも出てきますね。もっと活用できるといいですね。 分別ガイドの改訂について、プラスチック製品（バケツ等）も一括回収ということは、全てのプラスチックという意味ですか？ 具体的にどういうふうに一括されるのでしょうか？ ごみ分別アプリ、SNS とても見やすいです。思わず次から次へと引き込まれます。	ごみチャンネルについては、製本の方法、文字のサイズ等の見直しを検討します。 分別ガイドの改訂については、高齢者等に理解しやすいように検討します。 プラスチックの一括回収は現在のビニール・プラスチックに加えて、今まで不燃ごみとしていた硬質プラスチック（歯ブラシ、バケツなど）も一緒に回収することとなります。
12	川名委員	2-1 基本施策1 1.②リサイクルの推進 (P15)	今までの審議会でもごみ分別アプリのダウンロード数を多くすることが話し合われて来ました。アプリを活用することと同時にダウンロード（大人でも小人でもできること）数を上げる対策を考えて、加えてください。3R や 5R に対する関心を高め、環境情報を受けとる方法としても利用できると考えます。	アプリのダウンロード数を増やすための対策については、今後検討します。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
13	中村委員	2-1 基本施策 1 1.②リサイクルの 推進 (P15)	ごみ分別方法について、プラスチックは毎週 1 回の回収がありますが、ペットボトルについては、月 2 回しかありませんので、集積所に入りきりません。収集日を増やすか、プラスチックとペットボトルの収集日を別枠で設定したら良いと思います。	プラスチックの一括回収を踏まえ、回収方法の再検討をします。
14	斎藤委員	2-1 基本施策 1 1. ③ごみの適正 処理の推進 (P16)	文中『最終処分場の延命化を図るため、ごみ減量を推進しました。』とあり数値も下がっています。ただし、どのような方法で減らしたのかが書かれていません。いくつか具体策が必要と思います。	コロナ禍において、事業所や工場の稼働が減ったことや食品ロス削減として「てまえどり」および「もったいない」キャンペーン、事業系ごみ削減キャンペーンの実施、事業者等への啓発を行ったことにより、ごみ排出量が削減されたと考えています。
15	手島委員	2-1 基本施策 1 2.指標番号 2【事業 ごみ排出量】(P17)	令和 2 年度の実績値は、目標値を記載していないか？確認してください。	目標値については、進捗状況の表、右から 2 列目の「目標値」の欄に明記しています。 (8,198 t /年)
16	新関委員	2-1 基本施策 1 2.指標番号 7【ごみ の資源化】(P19)	実績値が目標を下回る状況がみられるので、令和 4 年度以降の取組みを期待します。	家庭から出される古紙や古布類を回収した資源回収登録団体に対する補助金交制度やごみ減量についてのキャンペーン等を継続するとともに、新たな取組を模索していきます。
17	新関委員	2-1 基本施策 1 2.指標番号 10【資 源再利用奨励補助 の推進】(P20)	実績値が目標を下回る状況がみられるので、令和 4 年度以降の取組みを期待します。また、目標値に対して実績値が低いことが気になりました。	コロナ禍において、自治会や子ども会等の団体によるごみ処理活動が減ったため、実績値が低くなっております。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
18	新関委員	2-1 基本施策1 2.指標番号 11【最終処分場の年間埋立量の削減状況】(P20)	目標値をもう少し低く設定できないのでしょうか。	現在の第三次入間市環境基本計画の中間見直しの際に、目標数値の設定について検討します。
19	篠塚委員	2-1 基本施策1 2.指標番号 14【次期最終処分場の建設に向けた検討、計画の策定】(P21)	令和2年度実施、評価↑とありますが、現在の進み具合は？	最終処分場の建設に対する地元住民の理解は得られている段階です。
20	中村委員	2-1 基本施策2 1.①省エネルギーの推進 (P22)	住宅用省エネルギー設備設置費用の補助金について、PR・チラシ等で宣伝をするとともに補助金についても引き上げたいと思います。特に、太陽光発電システムについて	ゼロカーボンシティ実現に向け、制度を再検討し、再生可能エネルギーの活用設備としてV2hを補助対象し、補助金額を上限30万円としました。補助要件を太陽光発電システム、HEMSの設置とすることで、同施設の普及も促進を図りたいと考えています。
21	新関委員	2-1 基本施策2 2. 指標番号 16【市施設におけるCO2排出量の削減】(P24)	実績値が目標値を大きく上回っていることについて、報告書で触れてあると良いと思います。令和4年度以降は大きく改善されることを期待します。	実績値が目標値を大幅に上回っていることについて、来年度報告書を作成する際には明記するよう検討します。 また、CO ₂ 排出量の主な原因は総合クリーンセンターでの廃プラスチック類の焼却によるものであるため、市の事務事業における温暖化対策への目標・取組等をまとめた入間市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を見直すとともに、市民に対し、ごみの分別についての呼びかけをより行っていくように検討します。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
22	相葉委員	2-1 基本施策2 2. 指標番号16【市施設におけるCO2排出量の削減】 (P24)	「停滞」が評価になっており、原因究明と今後の対応策について記述すべきと考えます。	原因と今後の対応策の記述については、来年度、報告書の原稿を作成する際に検討します。
23	斎藤委員	2-1 基本施策2 2. 指標番号16【市施設におけるCO2排出量の削減】 (P24)	コロナで施設閉鎖があったにもかかわらず、市施設のCO2排出量が大幅に増加しているのはなぜでしょうか。 市民がステイホームで断捨離を行い、大量のゴミが出たことで焼却のためのCO2が排出されたことも考えられますが、可能性の考察をすることで、今後の対処法も分かるとおもいます。	市の施設においてCO ₂ 排出量が増加した原因は、総合クリーンセンターでのCO ₂ 排出量の多い廃プラスチック類の焼却の割合が増加したためです。
24	手島委員	2-1 基本施策2 2. 指標番号16【市施設におけるCO2排出量の削減】 (P24)	実績値が大幅に悪化していますが、その対策等は全く考えていないのですか？PDCで終わっては意味がありません。Aと次のPDCAを回すべきではないですか。	入間市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の見直しと、庁内における地球温暖化対策の推進体制の見直しを検討します。
25	手島委員	2-1 基本施策2 2. 指標番号17, 18, 19 (P24~25)	現状維持を施策にしているようにしか見えません。ルーチンワーク？を重点取り組みにする意義を教えてください。	2050年、ゼロカーボンシティ実現に向けて、基本方針1全体を重点取組とさせていただきます。 なお、指標番号17については、来年度以降公共施設における再生可能エネルギー活用を重点的な取り組みとして行っていきます。

〈2. 令和3年度版いるましの環境第三次入間市環境基本計画環境報告書についての意見・質問〉

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
1	平塚委員	全体	全体 GHG 排出量の削減に向けて、事務事業との連携が不明瞭。行政、市民、事業者による意見交換等をベースに対策を実施していくことが望ましい。	地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定において、参考とさせていただきます。
2	篠塚委員	2-1 基本施策1 1.①ごみ減量の推進 (P13)	市民に対する啓発として長年にわたってごみ減量、マイバック推進キャンペーンをしていますが、かなり浸透していると思います。コロナ禍で中止になっている今、違うやり方でできる方法はないのでしょうか。広報いるま、FMチャッピーなどで一言メッセージなど。 事業系ごみ排出量が令和2年度は少なくなっていますが、事業系ごみ削減キャンペーンを実施した結果でしょうか？	ごみ減量やマイバック推進キャンペーンの市民への周知・啓発の方法を充実させていきます。事業系ごみ排出量は減少しましたが家庭ごみ排出量が増加しており、コロナウイルス感染防止による事業停止と在宅勤務の増加によるものと考えています。
3	篠塚委員	2-1 基本施策1 2.指標番号1【家庭ごみ排出量】(P17)	現況値（656g/人/日）と比べ、令和2年度実績値が多くなっているのは何故？	コロナ禍にて、家庭から排出されるごみの量が増加したためです。
4	篠塚委員	2-1 基本施策1 2.指標番号2【事業ごみ排出量】 (P17)	どういうふうにして、目標を達成したのでしょうか？	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在宅勤務が増加したことや事業が停止したことから、事業ごみ排出量が減り、目標を達成したと考えられます。また、事業系ごみ削減キャンペーンにより、事業者への啓発を行ったことも目標達成の一因と考えています。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
6	中村委員	2-2 基本施策 1 1.①里山の保全と活用拠点の整備 (P28)	1 行目：・ボランティア団体などの～維持管理体制の充実を図ります。 ボランティアの「団体数、会員数、今後の予定」を載せて頂きたいと思います。団体では、年間を通して、間伐、下草刈り、遊歩道、散策路など山道の清掃などを行っています。各団体いろいろな事業を行っていますので、イベント情報も載せて頂きたいをお願いします。	市民の方が積極的に市民活動に参加できるよう、情報提供等を行っていくことを検討します。(意見書案と整合させる)
7	高村委員	2-2 基本施策 2 水環境の保全 (P31～34)	この度、当社(カネパッケージ株)は、SAITAMA リバーサイドプロジェクトの趣旨「川の保全や川との共生に向けた活動を活性化し、SDGsの実現を目指す」に賛同し、活動に参加する事といたしました。今後、入間市としても、県(環境部水環境課)と連携し、この活動への参加をご検討されては如何でしょうか。	「同プロジェクト」は、川の国広援団登録団体を「団体サポーター」と位置づけています。 市内の河川浄化団体の2つが団体サポーターとして活動し、市はその事務局として参加しております。
8	篠塚委員	2-2 基本施策 2 2. 指標番号 31【雨水浸透ますの累計補助件数】 (P34)	実績値 0 件は何故? 「※第三次入間市環境基本計画策定時と数値が変わっています。」とありますが、どう変わったのでしょうか?	令和 2 年度の実績値が 0 件である理由は、申請がなかったためです。 第三次環境基本計画では平成 3 0 年度の現況値を 1 9 件としていますが、実際は 1 5 件であったため、数値を修正しました。 今後も引き続き、雨水浸透ますの普及に努めていきます。
9	篠塚委員	2-2 基本施策 3 1.②地産地消の促進 (P35)	入間 4H クラブ「入間をいただきます」プロジェクト支援とは?	入間市 4 H クラブが地産地消推進事業として活動してきた、新型コロナウイルス感染症の関係で接触した活動が困難なことから地産地消を P R したポスターを制作しました。各お店などに掲示してもらい、多くの人の目に触れることで地産地消推進につなげ、農業を支援していく事業です。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
10	伊藤委員	2-2 基本施策 4 1.①野生生物の保護と外来種対策 (P38)	その他外来種について 入間市における外来種について積極的に対策されていることを評価いたします。「その他外来種について」の項目に関し、今後はクビアカツヤカミキリを対象として、市民への周知、モニタリングを積極的に行っていただきたいと思えます。同種は埼玉県東部、北部を中心に分布を広げており、入間市域に侵入すれば桜の大量枯死などが懸念されます。すでに侵入している可能性もあると思えます。	外来種のクビアカツヤカミキリについては、埼玉県内や東京都の情報を集め、注視しています。入間市にはまだ侵入した形跡はありませんが、侵入した場合にはいち早く発見し、対処できるよう、チラシやホームページで周知を図っています。また、入間市自然かんさつ会の下見や当日に市内の自然の変化について専門の先生の協力も得ながら注意して見えています。
11	斎藤委員	2-3 基本施策 3 2. 指標番号 50【埋蔵文化財の報告書刊行数】 (P49)	埋蔵文化財に関しては、土地の開発に伴い試掘や発掘が行われ、報告書が作成されるものなので、そもそも目標値を設定するのはそぐわないのでは？	現在の第三次環境基本計画の見直しの際に目標設定について検討します。
12	新関委員	2-4 基本施策 1 2. 指標番号 55【河川などの水質調査点数】 (P53)	水質調査地点数だけでなく、水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準等に対する水質調査結果の概要もこの報告書にあってよいのではないのでしょうか。ネットで見ると入間市の下水道は分流式ながら普及率 90%未満のようですが、そうでしょうか。すると下水道普及率の向上も指標にあってもよいように思います。また、地下水の窒素汚染の状況把握とその汚染に対する肥料などの寄与なども指標にあるとよいと思います。	水質調査の結果については、「入間市の環境調査概要」にて毎年公表しています。指標については、第三次環境基本計画の見直しの際に再検討します。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
13	新関委員	2-4 基本施策 2 1.①騒音、振動、悪臭の発生抑制 (P53)	幹線道路では現状に併せて騒音の環境基準が高く設定されているため、基準内という報告になることが多いのですが、国道 16 号線沿いなどで大きな騒音の地域があるようです。また、航空自衛隊入間基地に離発着する航空機の騒音もあるようです。入間市で住宅防音対策が十分なされていることと思いますので、基本施策として「発生抑制」と合わせて、「防音等の対策」といった施策もあってよいように思います。	道路における騒音については、今までに市から道路の管理者へ騒音防止の要望を行ってきました。 航空機騒音に対する住宅防音工事は国(防衛省)が助成事業を行っているものです。 なお、市では、埼玉県が事務局となっている「埼玉県基地対策協議会」を通じて、毎年、防衛省に対して航空機による騒音軽減等について要望を行っております。 今回いただいたご意見は、今後の施策展開の参考とさせていただきます。
14	高村委員	2-5 基本施策 1 1.④入間市の環境を学ぶ (P55)	当社(カネパッケージ株)は、毎年環境フェアに出展しておりますが、出展者のマンネリ化を感じます。今後、より多くの企業、団体に参加して頂くような PR 活動を増やして頂ければ幸いです。ご検討宜しくお願いいたします。	環境フェアについては、SDG s の環境側面やゼロカーボン等の新たな視点で内容を再検討し、PR 等の方法も充実していきます。
15	新関委員	2-5 基本施策 1 1. ②環境情報の発信 (P56)	ごみ分別アプリにて詳しい分別リストが調べやすくなっていること、とてもよいと思います。プラスチックの一括回収が始まり、分別リストが変更になってもアプリ上で反映されるのでしょうか。	反映できるよう対応します。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
16	相葉委員	2-6 第三次入間市環境基本計画の総合結果・評価 (P66)	令和2年度の全体の取組評価として、「目標達成」は35.6%であり、新型コロナウイルスの影響とは言え、非常に低い。「目標に向けて進展」を含めて全体の約半数との記述があるが、市民にとって満足を得られるものではなく、反省と次年度への意気込みの記載があると、市に対する好感度が増すと思います。	今後、反省等を明記します。
17	相葉委員	3章 第四次入間地球温暖化対策実行計画 (P68)	令和5年度以降も第五次(事務事業編)として、もし策定するのであれば区域施策編と整合性の取れたものを作成すべきであり、入間市自ら市民の模範となるよう、市全体の目標よりも高い数値を掲げることが望ましいと考えます。	市の事務事業における温暖化防止に向けた取り組みは、市民等に対して率先的なものとする必要があるため、本計画の区域施策編の策定及び事務事業編の改訂の際に整合性を取るよう見直します。
18	新関委員	3-2 (2) 項目別温室効果ガス排出量 表4 項目別温室効果ガス排出量 (P70)	令和2年度の廃棄物による増加は、P.71 「表7 その他の項目の温室効果ガス排出量」を見ると廃プラスチックの焼却によることが分かるのですが、徐々に増えているにしても令和2年度は大きな増加に見えます。引越しといったこの年に限ってのことが、なにかあったのでしょうか。また、廃プラスチックの焼却を削減する方策にも触れられるとよいと思います。	コロナ禍での市民の生活様式の変化により、廃プラスチック類の焼却量が増加したことが考えられます。また、廃プラスチック類の焼却を削減する方策については、来年度策定予定である地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の内容と併せて検討していきます。
19	斎藤委員	3-2 (2) 項目別温室効果ガス排出量 ③その他 (P71)	第3章については、二酸化炭素の排出量の増加、特に焼却物の廃プラスチックの増加に言及していますが、クリーンセンターからの冊子で、汚れたプラスチックは混ぜて(見えないうちに)少量ずつ出して良いとあります。洗って水を汚すのが良いのか、主婦としては迷うところです。	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定に向けた取組内容の検討と併せて、廃プラスチックの取扱いについても検討します。

No.	委員名	項目	ご意見・ご質問	回答
20	手島委員	3-2 (2) 項目別温室効果ガス排出量 ③その他 (P71)	<p>廃プラスチックの焼却量が年々増加しているとの記述があります。入間市はプラスチックの分別も行っており、また、ごみの総量も人口の減少に伴い年々減少傾向であると理解しています。なぜ、廃プラスチックが基準年から倍増しているか理解できません。入間市役所では市民の分別意識が年々悪化しているとの認識を持っているのですか？具体的な対策を考えていますか？まずは、数値の算定根拠を各年度について明らかにしてください。</p>	<p>市としては、コロナ禍での市民の生活様式の変化により、廃プラスチック類の焼却量が増加したと捉えております。具体的な対策については、廃プラスチックの一括回収することで削減可能と考えております。その実施については、令和4年度より実施案の検討、業者との調整等を行い、早期の実施に向けて検討しています。</p> <p>数値の算定根拠については、別途回答致します。</p>
21	手島委員	第4章 環境マネジメントシステムの進捗状況 (P74)	<p>上段の本文 「第四次入間市地球温暖化対策実行計画(事務事業)」の運用について対象としているとのことですが、P.71「③その他」の事項(廃プラスチックの焼却量)は、第四次実行計画に含まれています。上記事項はマネジメントシステムでは問題視されていなかったのですか？上記事項を放置する限り事務事業編の温室効果ガス排出量の達成はおぼつかないと思えます。</p>	<p>ご指摘の廃プラスチック類は、市民から排出される一般廃棄物(可燃ごみ)に含まれているものです。そのため、家庭ごみを捨てる際の分別を行っていただく必要があります。</p> <p>第四次入間市地球温暖化対策実行計画(事務事業)は、市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減に向けた計画であるため、市民へのごみ分別の協力要請及び市施設などにおけるごみ削減及び分別の徹底について検討していきます。</p>

〈3. 入間市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定に係る事前調査についての意見〉

No.	委員名	項目	ご意見等
1	平塚委員	全体	今後、具体的な地球温暖化対策の施策を実装していき、その効果検証も必要になると思います。そのためには、効果検証しやすい算定方法に工夫する必要があります。そのためには、効果検証しやすい算定方法に工夫する必要があります。例えば、市としてコナラ二次林のCO ₂ 吸収量に施策を実施する場合、その算定方法は精緻(せいち)にしておくべきと考えます。茶畑からのN ₂ Oも地域特有の課題という趣旨から重要だと考えます。
2	斎藤委員	全体	細かい数値が多く、特に後半の資料は私には理解不能のものもあります。市として導入可能なのは、太陽光発電と木質バイオマス発電が主のようですが、太陽光発電についてはデメリットも多く聞こえてきます。後から屋根に乗せることで、雨漏りがおきるなどのトラブルがあること。一度設置したら永久に使えるわけではなくメンテナンス及び買い換えが必要な装置があり、費用面で負担になること。及び今後解決される可能性があります、20～30年後に廃棄がうまくいくかということです。その点のデメリットも計算（説明）に入れてほしいと思います。一方で木質バイオマス発電の方は毎年出る剪定枝や建築廃材をゴミとしないで活用でき、特にダイアプラン各市と協働できれば有効かと考えます。ただし、これにもデメリットがあると思われまので、その点の記載もあれば尚良いのではないのでしょうか。
3	相葉委員	全体	令和3年10月18日入間市環境審議会資料2-2及び資料3によれば、実行計画策定と(仮称)入間市環境保全条例策定のスケジュールが同時進行で行われる予定になっていますが、行政施策遂行上、条例が上位であり条例制定の内容を踏まえた実行計画が策定されるべきと考えますが、理論的に矛盾がありませんか。
4	相葉委員	全体	P.2【本調査の目的】に区域施策編策定に必要な温室効果ガス排出量の現況推計及び将来推計等を把握するためと記載がありますが、生データの記載のみで、データ考察の結果、入間市特有な現象、短期的課題、中長期的課題等についての記述がないため、実行計画に盛り込む重点課題を本報告書から抽出することが困難な気がします。事前調査の結果が31ページ以降の施策案とどの様に結びついているかの説明がなく、BAUのみで施策案の根拠としているのでしょうか？

No.	委員名	項目	ご意見等
5	森委員	1. 本市のこれまでの環境政策の取組 (P1)	10 行目「実際に本市の降水量は増加傾向にありと記載されていますが、気象庁では平年値は 30 年を単位として 10 年ごとに更新しています。ここで用いられている気象データは平成 7 年 (1995) から令和元年のデータです。約 25 年間のデータでは過去の傾向を現しても、これからの傾向を「増加傾向にある事がうかがえる」とか「大きくなってきていると考えられる」などの表現で、これからもその傾向が続くような予断するようなことは慎むべきと思います。図 3-7 をよく見ると、平成 7 年からの数値ではなく、平成 10 年からの数値からでは降水量はゆっくりと減少しているようにも見える。日本の降水量では、1995 年から 2020 年の 25 年間は増加傾向だがその前の 25 年間は減少傾向が観測されている。入間市の気象について過去の短期間の観測データで今後の傾向を予断するようなことを今後の温暖化対策の中で述べるのか理解苦しむ。説明して欲しい。
6	平塚委員	3. 本市の状況 3.1. ②植生 (P3)	“植生”についての文章において、生物多様性センターの出典があります。しかし、入間市内の二次林はコナラが優占しており、コナラ-クリ群落とコナラ-クスギ群落が適切だと考えます。
7	篠塚委員	3. 本市の状況 3.2. ③経済循環構造 (P9)	経済循環構造エネルギー代金の流出が約 327 億円となっており、近隣市の 4%程度と比較して大きいのは何故？ 『市内においては、エネルギー消費型の産業が多く、近隣市より多く市外からエネルギー調達を行っていると考えられます。』⇒具体的には？
8	平塚委員	3. 本市の状況 3.3. ①人口推移・将来人口 (P9)	人口構造がつぼ型であり、将来において生産人口が減少傾向になることが予測されます。温室効果ガス(GHG)の将来予測にあたり、活動量となる人口が減少傾向にあることを踏まえることが望ましいです。踏まえない場合、BAU には活動量の変化を組み込んでいないと明記すべきです。
9	平塚委員	3. 本市の状況 3.3. ②土地利用 (P11)	土地利用からの GHG 排出・吸収にあたり、より詳細に区分すべきです。例えば、山林はスギ・ヒノキ林 (人工林) とコナラ二次林を区別し、畑は茶畑と根菜類の畑等のように区分すべきだと考えます。
10	篠塚委員	3. 本市の状況 3.3. ②土地利用 (P11)	下から 2 行目：『農地の転用』とは？『平地林の伐採』の目的は？

No.	委員名	項目	ご意見等
11	川名委員	3. 本市の状況 3. 3. ③地域公共交通 (P13)	図 3-23) 入間市の主要道路と鉄道 バスの運用について、審議会で話題になりました市へバスの運用状況について、「会社の協力を得て調査してはどうか？」との意見が出たように覚えています。その後、調査はされたのでしょうか？
12	平塚委員	3. 本市の状況 3. 4. ④温室効果ガスの吸収源 (P21)	なぜ茶畑で CO ₂ 吸収になっているかが不明です。P.55 に計算方法が示されているが、茶畑の炭素ストック量が大きくなることは考えにくく、その根拠が必要だと考えます。
13	篠塚委員	3. 本市の状況 3.5. ①太陽光・陸上風力・中小水力・地熱バイナリー・太陽熱・地中熱 (P22)	再生可能エネルギーとしては、電気発電を見込めるものは、太陽光発電のみ。熱利用については、太陽熱、地中熱の利用可能。入間市だけでは、まかなえないということでしょうか？
14	平塚委員	3. 本市の状況 3. 5. ②木質バイオマス発電 (P24)	バイオマス発電の試算にあたり、平成 23 年度の報告書は古いです。すでに他自治体でバイオマス発電設備が稼働し、バイオマスの獲得が困難になりつつあります。したがって、賦存量を根拠に試算しても大きな意味がないでしょう。
15	新関委員	3. 本市の状況 3. 5. ②木質バイオマス発電 (P24)	木質バイオマスの発電ポテンシャルを市の事務事業の電力に対する比率(約 8.1%)で示したのは何か理由があるのですか？他の電力の比率として示すと小さな値になり、微々たるものといった印象を与えかねない、ということでしょうか？
16	篠塚委員	3. 本市の状況 3. 5. ②木質バイオマス発電 (P24~P25)	入間市だけというのではなく、隣接市を含めたダイアプラン全体での発電ポテンシャルはとても大きくなる。発電量も高められる。安定的に確保する点からもダイアプラン構成市との連携の可能性は重要。狭山市や日高市では、既に剪定枝のチップ化事業を実施している。入間市ではチップ化は考えていないのでしょうか？

No.	委員名	項目	ご意見等
17	平塚委員	3. 本市の状況 3. 6. 温室効果ガス排出量の将来推計 (BAU) (P26)	将来人口の減少が予測されていることから、それを見込んだ BAU にすべき。活動量が減少傾向にあるので、BAU ではさらに下降する試算になる。
18	篠塚委員	3. 本市の状況 3. 6. 温室効果ガス排出量の将来推計 (BAU) (P26)	再生可能エネルギーを最大限活用しただけでは、令和 12 年度 (2030 年) に 46%削減達成が見込めない。二酸化炭素吸収源のより詳細な把握と更なる温室効果ガス削減対策が必要。2030 年～2050 年の 20 年でできることは？
19	篠塚委員	3. 本市の状況 3. 6. ①現状趨勢 BAU の内訳 (P27)	表 3-10) BAU 将来推計 非エネルギー起源⇒廃棄物分野⇒焼却処分⇒一般廃棄物の BAU が多い。121,604t-CO2 (令和 32 年) 市民ひとり一人に意識をもって協力してもらうことが大切ではないでしょうか。減少する可能性ありだと思います。
20	篠塚委員	3. 本市の状況 3. 6. ②③ (P28)	再生可能エネルギーの導入だけでは令和 12 年度 (2030 年度) に 46%削減を達成できないので、再生可能エネルギーを導入した上で、削減目標の達成に向けた対策が必要。→どんなふうに ③を強化する方策をすすめるべきでは？
21	新関委員	4. 温室効果ガス削減に向けた方向性 4. 1. ②国 (P29)	パリ協定の説明で外務省の WEB ページでは、「全ての国が温室効果ガスの排出削減目標を「国が決定する貢献 (NDC)」として 5 年毎に提出・更新する義務があります」となっているので、「5 年ごとに成果を提出する」とはすこしニュアンスが違っているように感じます。国のエネルギーミックスにおいて、原子力の比率が入っていないのはなぜでしょうか？
22	篠塚委員	4. 温室効果ガス削減に向けた方向性 4. 1. ③埼玉県 (P29)	埼玉県地球温暖化対策実行計画の見直し作業が進められており、令和 4 年 (2022 年) 度中に一部改訂される見込み。 → バケツ(プラスチックごみ)などを一括回収して資源ごみ扱いすることでしょうか？

No.	委員名	項目	ご意見等
23	川名委員	4. 温室効果ガス削減に向けた方向性 4. 3. ①施策の体系 (P31)	環境の世界的悪化に対する対策の1つとして、2050年のカーボンニュートラルの目標がI～VIまで挙げられています。しかし、目標達成に向かう入間市・行政としての姿勢はどうでしょうか？それなりの予算をつくり、市民の協力なくして目標の達成は「絵に描いた餅」となりかねません。特に「IV.豊かな緑の保全と創造」は、キチンとした計画の基、それなりの予算を確保しなければ難しいと思われます。目標と予算に対するバランスもなんらかの型で計画に盛り込み必要があると考えます。
24	篠塚委員	4. 温室効果ガス削減に向けた方向性 4. 3. ①施策の体系 (P31)	市民ひとり一人が実践することによって、どれだけ効果が上がっているか、見える化できると励みにもつながるのではないのでしょうか。子供から大人まで誰でもが自分の力で地球を大切に生きているという実態を持つことができるように思います。
25	新関委員	4. 温室効果ガス削減に向けた方向性 4. 3. ②施策の展開 (P32)	施策の展開 基本施策I(1)(ア)主な取り組みとして「PPAモデルによる初期投資ゼロでの屋根等への太陽光発電設備の導入」が示されています。先頭に掲げられると最も重要な施策、との印象を受けるので、PPAモデルにより、どれだけ導入されることが期待できるか、といったことも合わせて示されるとよいと思います。
26	篠塚委員	4. 温室効果ガス削減に向けた方向性 4. 3. ②施策の展開 (P35)	基本施策IV 市の率先実行 ②市有施設のZEB化の導入とは？ ⑦ごみ焼却発電の導入の検討→どんなものですか？

No.	委員名	項目	ご意見等
27	高村委員	4. 温室効果ガス削減に向けた方向性 4. 3. ②施策の展開 (P35)	⑤文中の「環境配慮型製品の購入について」 現在、当社（カネパッケージ㈱）では、バイオマス原料配合の環境配慮製品等を販売しておりますが、既存製品からのコストアップを理由に切り替えが進まない現実も、課題として捉えております。そこで、今後、ゼロカーボンを目指すにあたり、環境配慮製品とコストのバランスについては、どのようにお考えでしょうか。
28	新関委員	5. 温室効果ガス排出量削減目標達成のための推進体制・進捗管理 5. 2. 進捗管理 (P40)	図 5-2) PDCA サイクルに基づいた実行計画の進捗管理(イメージ)で、P,C,A において、【事務局】、【入間市環境審議会】が主体者となっておりますが、“check”のところは第三者に近いところ、例えば「埼玉県西部地域まちづくり協議会構成市」によるピア・レビュー（相互評価）といったことはできないでしょうか。
29	平塚委員	資料編 1. 1. P42	基本的に埼玉県の値から人口等で案分する方法です。しかし、この方法だと入間市独自の効果検証が困難になってしまいます。例えばハイブリット車の割合が埼玉県と入間市では異なる場合（未確認）、そうした取組の効果が見えるような計算式に更新すべきです。
30	平塚委員	資料編 1. 2. P46	農業分野の N ₂ O 排出の計算プロセスが分かりにくいです。畑地(合計 1,464ha)の全てを茶畑と仮定した場合、 $1,464 \times 0.021 = 30.744\text{t-N}_2\text{O}$ となり、N ₂ O の温暖化係数である 298 を乗じると 9,162t-CO ₂ になります。P.20 の約 4,000t-CO ₂ と大きく異なります。畑地のうち、茶畑は半分以下の割合ということでしょうか？

No.	委員名	項目	ご意見等
31	新関委員	資料編 3. P56~90	<p>資料編 3 活動量の BAU 予測詳細値全般について</p> <p>①一つだけ大きく外れたグラフの最大値に合わせて縦軸が決められているので、他の近似曲線のグラフの変化が分かりにくくなっています。</p> <p>②6通りの中から1つの近似を採用していると見ましたが、それを選んだ根拠が分かりません。</p> <p>③短い期間の傾向を数式で近似し、令和 32 年まで外挿することにどれだけ意味があるか触れる必要があると思います。</p> <p>68 ページ走行キロに合わせたバスの保有台数は増加と想定されています。これはバス台数が増えるからでしょうか？それとも路線キロ数が少なくなるからでしょうか？また、70 ページでは排出係数に合わせたバスの保有台数が減少していますが、これはどのような傾向を表しているのでしょうか？少し説明が欲しいところです。</p>
32	相葉委員	資料編 5. P92	<p>「脱炭素先行地域」という言葉の定義、選定の必要性、また、先行地域選定により国又は県から市に給付される補助金制度があれば、その条件等をご教示願います。</p>

※入間市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定に係る事前調査についての意見は、今後、入間市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定する際に、活用させていただきます。